

理)。患者さんが眠っている間、常に全身の状態に気を配り、安全に手術が進行するように麻酔科医は患者さんと一緒に闘っているのです。

手術が無事終わり、意識を回復させるときにも気は抜けません。それまで器械や薬によつてサポートしていた呼吸や循環を無理なく、できる限り生理的な状態に戻すには細心の注意が必要です。目が覚めた後に傷口が痛まないよう鎮痛薬の調節もします(完全に痛みをなくすのは難しいですが)。意識や呼吸が戻り、最後に呼吸管理のための管を抜き、患者さんが「もう終わったの?」、「よく寝た」とおっしゃる瞬間が麻酔科医の胸をなでおろすときです。

3 終わりに

以上一部ではありますが、麻酔科医が普段どんな仕事をしているのか簡単に説明させて頂きました。少々怖いお話もしてしまい、全身麻酔に対して危うい印象を持たれてしまったかもしれません。残念ながら現状ではその危うい方法が手術の強い痛みや恐怖から身を守るための最善の方法とされています。その専門家として麻酔科医は患者さんができる限り安全かつ快適に手術を受けられるよう日々努力しています。

エコキャップ運動 実施中(お礼)

5月11日、菌ヶ谷地区よりペットボトルのキャップ約16kgを寄付していただきました。ありがとうございます。当院では、K・mixと協和医科器械(株)と協力して、エコキャップ運動を実施しています。キャップは約8000個(約2kg)でポリオワクチン1人分となり、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて世界の子供たちに寄贈します。平成22年3月まで実施しております。集めたキャップはいつでも構いませんので病院警備室までお持ち下さい。

平成21年4月28日 当病院にて献血が実施されました



多くの方にご協力を頂きました。ありがとうございました。

献血をお願いした方	24人
内訳 200mL献血	6人
400mL献血	18人

募集

掛川糖尿病研究会

- 無理なく続けられる食事療法
- 一型糖尿病(段階別治療)

とき 6月20日(土) 午後2時から5時まで
 ところ 掛川市立総合病院 サロン講義室
 対象 どなたでも参加できます。
 参加料 500円
 講師 掛川市立総合病院 管理栄養士 牛尾紗希子
 東京女子医科大学付属病院
 糖尿病センター教授 内潟安子
 ㊤掛川市立総合病院 栄養管理室 松浦
 TEL22-6211(内線2270)



おねがいします

採用職員

- 非常勤看護師(4/3付) 横山 貴美 外来第一(内科)
- 非常勤看護師(4/8付) 平松 晃子 病棟2階東
- 非常勤看護師(6/1付) 村松 香 病棟5階西
- 非常勤看護師(6/1付) 桑田 栄子 病棟4階西
- 非常勤看護師(6/1付) 野中 智子 外来第一(内科)

ありがとうございました

退職職員

- 非常勤事務員(6/1付) 吉川 友紀 放射線室
- 非常勤准看護師(6/7付) 神谷 町子 病棟2階西
- 医師(4/30付) 長野 俊久 整形外科医員
- 非常勤検査技師(4/10付) 高橋 沙織 検査室
- 非常勤医療補助員(6/7付) 阿形 まゆみ 病棟5階東

病院の概況 4月

区分		人数(名)	前月対比(名)
患者数	外来	延べ	18,924
		1日平均	901
	入院	延べ	11,370
		1日平均	379
赤ちゃん誕生	男の子	22	-2
	女の子	14	0
	計	36	-2
人間ドック受診	1泊2日コース	延べ	5
		1日平均	5
	日帰りコース	延べ	645
		1日平均	31
脳ドック	延べ	7	1
	計	657	-19